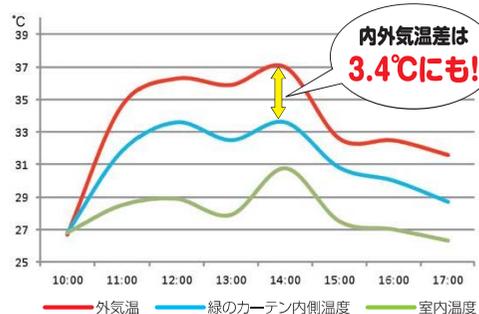


## 緑のカーテン効果測定 in アスエコ

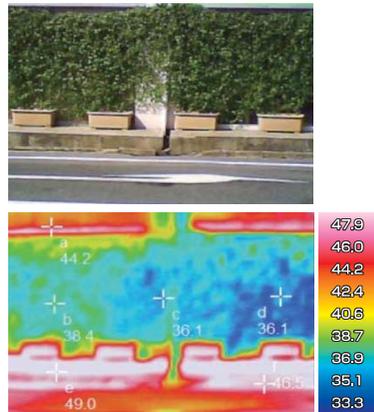
環境学習センター「アスエコ」で設置した緑のカーテンで測定してみました。(測定日/平成24年9月19日 晴れ)

温度測定結果



- 温度の高い部分は暖色系、低い部分は寒色系に映ります。
- プランターやコンクリート、サッシなどの部分が熱くなり、緑のカーテンで被覆した部分の温度が低いことがわかります。

赤外線サーモグラフィによる撮影



エアコンに頼りすぎることなく、自然の涼しさで夏を快適に過ごせる「緑のカーテン」。

省エネや、地球温暖化の原因とされるCO<sub>2</sub>削減にもつながります。

みんなで緑のカーテンを育て、節電しながら涼しい夏を過ごしましょう。

# Let's チャレンジ 緑のカーテン



## 「緑のカーテンコンテスト」

- 環境学習センター「アスエコ」では、省エネに役立ち、CO<sub>2</sub>削減につながる「緑のカーテンコンテスト」を2008年より実施しており、2012年までの5年間で、その総数は約500件になりました。
- 地球にやさしい「緑のカーテン」づくりを、これからもみんなでどんどん広げていきましょう。



皆様のご応募をお待ちしております。



「緑の相談室」  
のご案内

(公財)岡山市公園協会では、ご家庭での植物の育て方などの  
緑化相談を行っていますので、お気軽にご相談ください。

半田山植物園 緑の相談室(受付:13時~16時/火曜休)

電話:086-256-8787

お問い合わせ先

公益財団法人 岡山県環境保全事業団 環境学習センター アスエコ

〒700-0907 岡山県岡山市北区下石井2丁目2-10  
TEL.086-224-7272 FAX.086-224-7273

### ① 必要なものを準備しよう

種や苗、土、プランターなど、必要なものは園芸店やホームセンターなどで手に入ります。



### ② 種まき 4月~5月 苗の植え付け 5月頃

#### 1 種から苗をつくる

種から植えるときは、少し大きくなるまで、ポットで育てた方が安心です。

#### 種を準備する

発芽を早めるために種の先端を切ります。ペットボトルに入れて振り、一晩水に浸して、洗んだ種だけを使用します。

#### ポットに植える

ポットの土の上に種を水平に置いて、土を1cmほどかぶせてから水をあげます。

#### 2 苗の植えつけ

#### プランターに移す

本葉が3~5枚になったら、根元の土をくずさないようにポットからそっと出して、間隔をあけてプランターに植え替えます。植え付けたあとは、水をたっぷりあげてください。

プランターの底には、鉢底石や軽石などを敷くと、水はけをよくし、根ぐされを防げます。根が喜ぶ土の深さは30cmほど。土をほくしながらふんわりとなるように入れましょう。



### 緑のカーテンづくりに利用できる主な植物

#### ゴーヤ(ニガウリ)

種まき: 4月~5月  
苗の植え付け: 5月~6月  
収穫: 7月~9月

#### アサガオ

種まき: 5月~6月  
苗の植え付け: 6月  
開花: 8月~9月

#### ふうせんかずら

種まき: 5月~6月  
開花: 7月~9月

#### きゅうり

種まき: 4月~5月  
苗の植え付け: 5月~7月  
収穫: 7月~9月

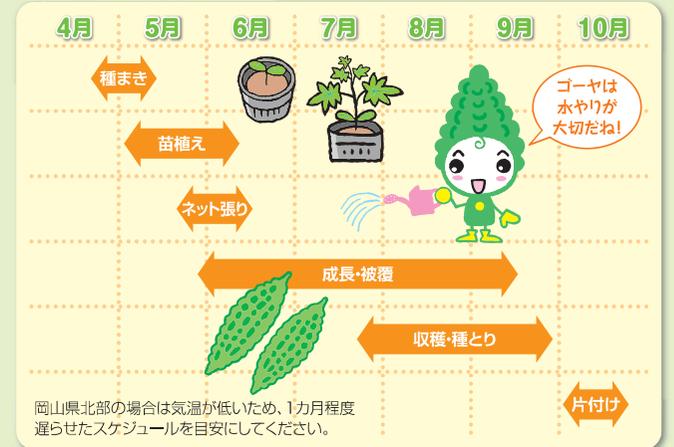
#### へちま

種まき: 4月~5月  
収穫: 9月~11月

#### パッションフルーツ

苗の植え付け: 4月~5月  
開花: 6月~9月  
収穫: 8月~11月

### 年間栽培スケジュール (岡山県南部の場合)



### ③ 水やりは段階的に

苗が小さいうちは、水分を多くあげすぎないこと。大きく育てきたら、朝夕2回、たっぷり。プランターの底から流れ出るぐらいに水をあげましょう。

#### 植え付け後、1ヵ月くらい

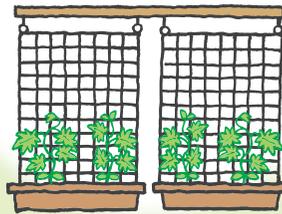
地中にしっかりと根を張る時期なので、土の表面が乾いたら、たっぷり水をあげるようにします。プランターの場合は、底から水がしみ出るまであげます。

#### 生長期

7月に入り、気温が高くなってきたら、1日1回、朝夕2回にたっぷりの水をあげます。猛暑時には、朝夕2回の水やりが必要になることもあります。水分不足で葉が垂れて元気がないときは、昼間でもたっぷり水をあげてください。

### ④ ネット張り 5月~6月頃

つるが伸びる前にネットを張ります。ネットの上部は、階上のベランダの柵や手すり、軒先につけたフックなどにより結びつけましょう。下部は、地面の場合は杭を打つか、そうでない場合はコンクリートブロックやプランターを重しにして、しっかり固定します。ネットは、風でゆれないようにピンと張るのが良好な生育のポイントです。



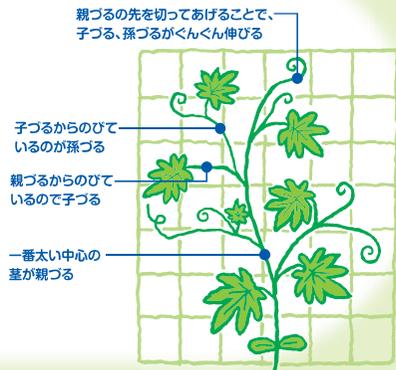
### ⑤ つるの誘引 6月~8月

緑のカーテンでは、特に生長期(最初の2ヵ月位)に、つるがネットにうまくからまって、つると葉がネット全体をおおうように、つるを誘引(伸びてほしい方向に導くこと)する必要があります。つると葉がネット全体を覆うように、ひもや園芸用のテープ結束タイで、ゆるく結びつけ、横へ横へ導きます。つるとネットをからめるときは、ひもを8の字にしてつるとネットを結びます。結び目はゆつたりと余裕を持たせておくと、つるがネットにすれて傷つきません。



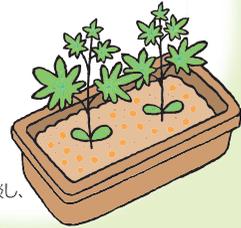
### ⑥ 摘心 6月~8月

つるの先端が、つくろうとしている緑のカーテンの上端まできたら、親づるの先を2~3cm切りましょう(摘心)。そうすることで、子づる、孫づるが元気に成長し、ネット全体をおおいやすくなります。子づる、孫づるも必要に応じて誘引します。



### ⑦ 追肥 7月~8月

つるが伸び、大きく育つと、多くの養分が必要となります。7月中旬~下旬の雌花の一番花が咲いた頃を目安に、根元を避けて追肥します。その後も、実がなり始めたころから、3~4週間に1回ぐらい、定期的に追肥しましょう。液体肥料の場合は、即効性はありますが効果が続かないため、1週間に1回ぐらい追肥してください。



※肥料は販売店でよく相談し、購入してください。

### ⑧ 収穫 8月~9月

ゴーヤは、種まきをしてから約2ヵ月で収穫できるようになります。熟して黄色になる前に収穫しましょう。結実してから2~3週間ぐらいが食べごろです。



#### 下ごしらえ

調理する前に、たて半分に切って、スプーンなどでワタと種を取り除きます。苦みが気になる場合は、薄切りにして水にさらす、塩でもむ、軽く湯通しするなどを行えば、苦みが和らぎます。

#### 保存

たくさん採れてすぐに食べられない場合は、スライスした状態で冷凍したり、乾燥処理しておけば、長期保存ができます。

### ⑨ 次年度に向けての準備

#### 種とり 7月~9月

実の全体が黄色くなってきたら種をとりましょう。種をとるときは、よく熟した実の種のまわりの赤いゼリー状のものを洗い流し、風通しのよい場所で陰干し、乾燥させたら、密閉容器に入れて、冷蔵庫などで保管します。

#### 片付け

10月になり涼しくなってきたら、葉も黄色くなってきたら、ネットにまきついてる枯れ葉やつるをはずしましょう。ネットやプランターは翌年にもまた使えます。保管してとっておきましょう。

#### 土

前の年に植物を育てていた土に同じ科のものを植えると、連作障害が出る場合がありますので注意しましょう。